様式2－2

令和8年4月1日

令和8年度　評価計画及び自己評価

（(計画)・中間・最終 ）

音戸中学校区 校番 19　学校名 音戸中学校

a 学校教育目標	＜小中一貫教育目標＞ 夢や志をもち 自ら動き たくましく生活する 児童生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉（学校の使命） 生徒・保護者・地域の期待に応える中学校教育の実現 〈ビジョン〉（将来の学校像） ～連携・伝統・創造～ 〇生徒に，学ぶ喜びと生きる夢を与える学校 〇職員に，責任と意欲を育む学校 〇保護者・地域に，元気と文化を発信し続ける学校

c 中期経営目標を踏まえた現状（進捗状況）と今年度の重点	〇基礎学力や学習習慣の定着が不十分な生徒が多い。 →小中が連携した計画的な授業研究と，定期的な校内研修に基づく授業改善の推進 〇コミュニティースクール導入により地域の方から協力が得やすくなる。 →学校運営協議会の仕組みを効果的に活用した地域と協働した総合的な学習の時間の充実 〇自己肯定感をもちきれない生徒が多く，不登校・発達障害（傾向）の生徒の組織的支援が不十分である。 →生徒主体の活動の活性化による自己肯定感の向上と，SC等を活用した個に応じた支援の充実

育成すべき資質・能力	(1) 知識・技能　(2) 思考力・判断力・表現力　(3) 協働的に関わる力　(4) 地域の一員として関わる力

評価計画（中期経営目標を設定してから (1) ・ 2 ・ 3 年目）						自己評価					
						上半期			下半期		
重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（今年度）経営目標	f 目標達成のための方策（こんなことをして達成します）	g 指標（効果を見とる目安）	h 目標値	i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★★ 確かな学力	「自分の考えをもつ力」「自分を表現する力」を主体的に身に付けた生徒の育成	(貫) 〇生徒が主体的に課題解決に取り組む授業づくりの推進	〇中学校区の授業モデルを基にした，考える授業づくりを推進する。 〇ICTを効果的に活用した授業実践を行う。	〇学期末テストの正答率40%以下の生徒の割合（国・数・英）	30%未満	22.2	135.1	A			
		〇校内授業研究の充実	〇指導主事を招聘した校内授業研究会を計画的に実施する。	〇指導主事を招聘した研究授業の実施	年間3回	1	33.3	D			
★★ 豊かな心・健やかな体	「地域とつながろうとする力」「チャレンジする力」「体力を高めようとする力」を身に付けた生徒の育成	〇地域協働活動の推進	〇学校運営協議会の仕組みを活用しながら，地域行事やボランティア活動などへの参加を促す。	〇年間1回以上ボランティア活動等に参加した生徒の割合	65%	32	49.2	C			
		〇生徒のニーズや思いに応じた支援の充実	〇学校体制で教育相談を全生徒に実施する。 〇保護者や関係機関，SC等の専門家と連携し，個々の生徒に対応する。	〇「学校に行くのは楽しい」と回答した生徒の割合	90%	86.2	95.8	B			
		〇生徒主体の活動の充実による自己肯定感の高揚	〇生徒会・委員会活動を日常的に行い，活性化させる。 〇サオンドバッジ制度を活用し，生徒の挑戦・努力する姿を評価する。	〇自己肯定感に関するアンケートにおいて，肯定的評価をした生徒の割合	80%	78	97.5	B			
		〇生徒の運動意欲の高揚	〇前回の記録を基に各自の目標を設定させ，記録更新をめざして新体カテストに取り組めるように工夫する。	〇運動やスポーツが好きな生徒の割合	85%	86.2	101.4	A			
★ 安心・安全な学校	「自分の命を自分で守る力」「人を大切にする力」を身に付けた生徒の育成	〇地域の災害リスクを踏まえた防災教育の充実・深化	〇地域人材や出前授業等を活用し，自分事として捉えられる実践的・体験的な防災教育を実施する。	〇災害時に避難する場所や避難の仕方について理解している生徒の割合	100%	97.5	97.5	B			
		〇いじめを許さない学校環境づくりの推進	〇校内研修を計画的に実施し，いじめの積極的認知と早期対応を行う意識を高める。 〇いじめ防止委員会を定期的に開催し，情報共有を行う。	〇「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思います」に肯定的に回答した生徒の割合	100%	88.6	88.6	C			
業務改善	教職員がやりがいを感じ，生き生きと働く職場づくり	〇教職員の時間外勤務時間の縮減 〇教職員が話しやすい雰囲気づくり	〇部活動休養日と定時退校日を徹底する。 〇教職員に対する肯定的評価や温かい声かけを励行する。 〇定期的に業務量の調整を行う。	〇1ヶ月の時間外勤務時間が45時間未満の職員の割合	80%	76.9	96.1	B			
				〇「日々の業務の中で充実感を得られている」と肯定的に回答した職員の割合	90%	93.3	103.6	A			

【k:評価】
A:100≦（目標達成）　B:80≦（ほぼ達成）＜100
C:60≦（もう少し）＜80　D:（できていない）＜60